

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度3月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

## 事業名 孤独・孤立対策官民連携事業費補助金（R5分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係 電話番号：058-272-1111(内3446)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 49,000 千円（現計予算額： 0 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	49,000	0	0	0	0	0	0	0	49,000
決定額									

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

長引くコロナ禍の影響により、孤独・孤立が深刻な社会問題となっており、令和2年の全国の自殺者数が11年ぶりに増加に転じていることも、孤独・孤立問題が要因の一つと考えられている。

県内でも、令和3年の自殺者が平成26年以降7年ぶりに増加しており、生活困窮者からの相談件数もコロナ禍前の令和元年度と比較して高止まりしている状況にある。

そのため、国の重点計画においても、孤独・孤立対策の推進に当たっては、孤独・孤立の問題を抱える当事者への支援を行う「NPO法人等は重要かつ必要不可欠」とされていることから、コロナ禍での社会経済情勢や物価高騰状況下において、本県で活躍する孤独・孤立対策に関連のあるNPO法人等の活動を支援する。

### （2）事業内容

県内のNPO法人を熟知し、各種支援を行っている（特非）ぎふNPOセンターが、県内の孤独・孤立対策に取り組むNPO法人等に対して活動経費を助成する費用に対して補助する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10負担

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	49,000	助成金（1団体あたり最大1,000千円×45団体）、人件費、事務費
合計	49,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・孤独・孤立対策の重点計画（内閣官房 R3. 12. 28策定）

### (2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）の拡充  
R4. 4に「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を創設し、地域の実情に応じたきめ細かな生活困窮者対策の実施など真に生活に困っている方々への支援措置を強化するとともに、孤独・孤立対策や困窮者支援に取り組むNPO等の取組みを支援すると定めている
- ・他県では実施事例なし

### (3) 後年度の財政負担

- ・国の孤独・孤立対策の動向などを踏まえ、継続的な支援を検討する必要がある

### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・本県の孤独・孤立対策の推進として、県がNPO法人等に対する助成事業を支援するのは妥当

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	孤独・孤立対策官民連携事業
補助事業者(団体)	(特非) ぎふNPOセンター (理由) 県内のNPO法人等を熟知・支援しているため
補助事業の概要	(目的) 孤独・孤立対策に取り組むNPO法人等を支援 (内容) NPO法人等の活動経費の助成に関する費用を補助
補助率・補助単価等	定額・ <b>定率</b> その他(例: 人件費相当額) (内容) 補助率10/10、1団体あたり上限1,000千円 (理由) コロナ禍での社会経済情勢や物価高騰に対し緊急的に孤独・孤立対策を強化するため
補助効果	孤独・孤立に陥っている方を必要な支援に繋げることが可能
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 現下の情勢に対して緊急的に孤独・孤立対策を強化する事業であるため

(事業目標)

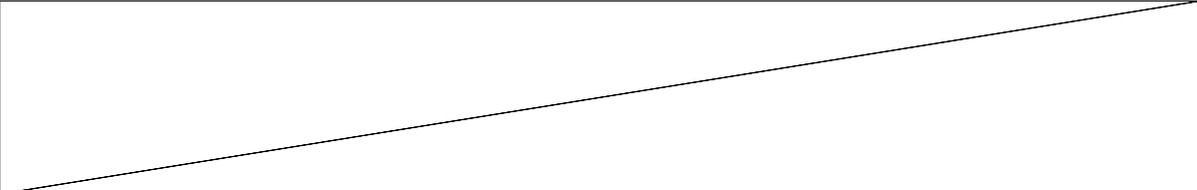
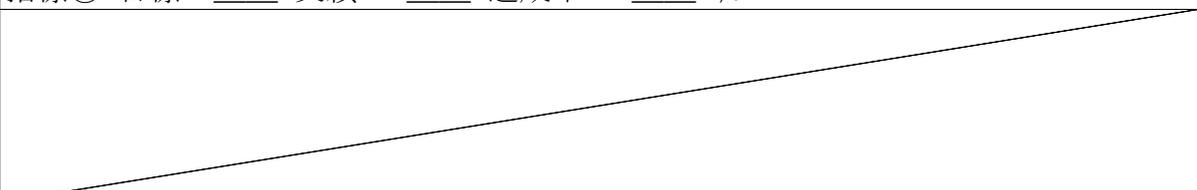
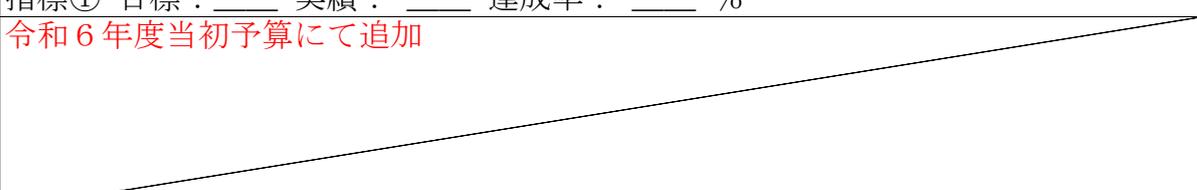
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>孤独・孤立対策に取り組むNPO法人等の活動の一層の推進を図ることで、孤独を感じ、社会から孤立している方を支援する。</p>
---

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前(R)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標(R)	達成率
①	指標の設定になじまない					
②						

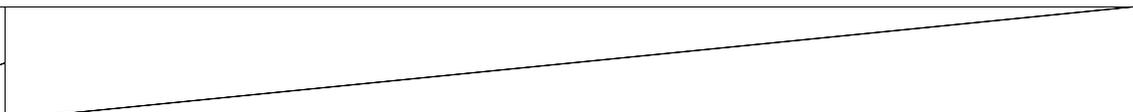
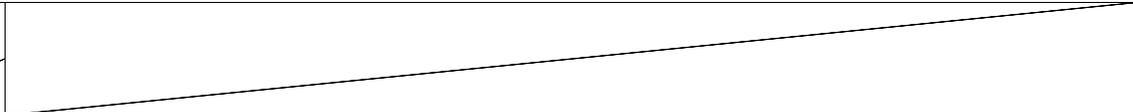
補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度
---------------------	-------	------	------

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>国の重点計画では、孤独・孤立対策におけるNPO法人等は重要かつ必要不可欠とされており、本県で活躍する孤独・孤立対策に関連のあるNPO法人等の活動を支援する重要性は高い</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 助成したNPO法人等による、次年度以降の孤独・孤立対策の継続性</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の孤独・孤立対策の動向などを踏まえ、事業の継続性について検討</p>
---